



おわりに

下水道には、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、雨水排水による浸水からの生命や財産の保護、都市機能の確保といった基本的な役割があり、これを将来にわたって果たしていくことが求められています。

このため、今後、ビジョン2030に基づき施策を展開するにあたっては、継続的に求められる取組はもとより、施策の方向性に横断的に取り入れた市民や企業等との連携、ICT等の先端技術の積極的な活用、下水道事業への市民の理解と関心を深めるための取組といった新たな視点を行動計画である「広島市下水道事業中期経営プラン」に反映し、着実に実施につなげていきます。

また、実施においては、下水道資産である人員（ヒト）・施設（モノ）・経営（カネ）・情報全てを有効活用して事業運営を適正化する仕組みであるアセットマネジメントを念頭に置きながら、安定かつ効率的な下水道サービスの提供に貢献していきます。